

## ちば生物多様性県民会議 実行委員会

- 【日 時】 平成22年3月22日（日） 18:10 ～ 21:00
- 【場 所】 千葉県蘇我勤労市民プラザ 第7講習室
- 【議 長】 金親 博榮
- 【出席者】 実行委員9名(金親・栗原・酒井・佐藤・佐野・鈴木・田村・手塚・水嶋)  
事務局4名

### 議 事 内 容

- 1 開会
- 2 議題

#### 議題1. 意見書について

- ・ 前回からの修正点を栗原事務局長より説明
  - 佐野・手塚・中村（俊彦）・栗原の4人で議論を行い修正した。
  - 意見書の宛先は、当初は知事あてにしていたが、意見書の有効性を考え、環境生活部長あてに変更（関係する各部局には環境生活部から伝達）
  - 大きな議題と個別案件を整理した。大きな議題は囲い内に記載した。
  - 有人ヘリコプターについての意見は、いただいた意見を基に修正
  - 意見書だが、意見交換会の開催を願う記述を入れた。

#### (意見書への修正点)

- 生物多様性の“利活用”は“利用”にする。
- 前文の最後の3行を削除し、その前の文章を“県担当部局との直接の意見交換会の機会を要望します。”とする。
- 前文の14行目“その責任を県行政と分かち合うつもりです。”を“…分かち合います。”とする。
- 文面に“3月22日の実行委員会で決議を行った”と追加記載する。
- 5ページの教育庁の事業関係は、囲みの中に“1. 学校教育の過程で生物・生命・いのちを大切にする生物多様性教育が大切である”など学校教育での生物多様性教育の重要性を追加し、個別事業の重複部分を削る。
- 教育庁の事業関係の個別案件の“学校への働きかけをお願いします。”は“…実施を要望します。”などの記載にする。
- 教育庁の事業関係の個別案件の“「生物多様性体験学習推進事業」を軸として”は削る。
- 教職員がビオトープの意義や維持管理の方法を学ぶ研修の機会とし

て、ビオトープフォーラムを開催しているが、博物館の教職員研修などにビオトープを入れるなど、教育庁が学校における生物多様性教育を推進するためのより多くの研修の機会を設けることを要望する。

- ・ この文章について以後の議論は行わず、修正については修正に係った四人に一任し、3月中に提出を行う。

#### 議題2. その他

- ・ メーリングリストの活性化のために、ルール作りが必要ではないか
- ・ 規約を整理して、メーリングリストの運用を考えたらどうか。
- ・ 現在、各地域の活動の話が出てこないで、地域の問題を吸い上げられるような仕組みづくりが必要。各地の取組の情報が流れるようなメールにしていく。

#### 議題3. 新しい役員の互選

- ・ まず現在の実行委員を確認した。(28名)
- ・ 平成21年の役員が、平成22年の役員を引続き行うことを確認した。本日、欠席した2名の役員については就任の可否を直接確認する。  
(新役員(代表・副代表・事務局長)の互選がなされるまでの間は、現役員の任期を暫定的に延長する。)  
…1月17日の実行委員会で任期の延期について承諾済み

### 3 閉会